

II 訪問国・訪問都市の概要

1 イギリス

(1) イギリスの概要

正式名称はグレートブリテン及び北アイルランド連合王国だが、一般的にはイギリスや英国といった名称で呼ばれる。ロンドンを首都とする人口約 6,180 万人のヨーロッパにおける主要な国の一つである。主にグレートブリテン島のイングランド、スコットランド、ウェールズ、アイルランド島の北アイルランドなど、多くの島から成っている。立憲君主制を採っており、現在の連合王国の元首は 1952 年に即位したエリザベス 2 世女王である。

第 1 次世界大戦以前には、世界の海を征し、多くの植民地や奴隷貿易などで世界一の大国となるイギリス帝国を築いた。第 2 次世界大戦後には、「ゆりかごから墓場まで」をスローガンとした福祉国家であったことでも有名である。これは結果的に経済の停滞を招くこととなったが、1979 年に首相となったマーガレット・サッチャーによって経済の立て直しが図られ、ロンドンを中心とした金融産業が成長。現在では、ヨーロッパの金融市場の中心、世界の金融市場の中心といえるものとなっている。

GDP は 2010 年には世界第 6 位であり、主な産業としては、航空機、電気機器を始めとした工業・製造業、金融業、石炭、石油、鉱業、農業が挙げられる。また、ウェストミンスター寺院、多くの宮殿や大聖堂、ストーンヘンジなどが世界遺産として登録されており、観光業も盛んである。海運会社も多く所在し、過去には「タイタニック号」や「クイーン・エリザベス 2 号」などが運航されていたことがある。

近代サッカーやラグビー、ゴルフなど多くのスポーツが、イギリスが発祥の地とされ、国技として親しまれており、スポーツへの関心は極めて高いといえる。中でも、サッカーのイングランド・プレミアリーグは世界的な人気を博しており、スター選手や功績者には爵位が与えられるほどである。また、近代競馬発祥の地でもあり、最も権威のあるダービーや王室主催のレースが行われるなど、現代でも世界トップクラスのレベルと観客動員数、馬券の売上を誇る。また、クリケットや馬術も人気である。

(2) ロンドンの概要

750 万人を超える人口を有するイギリス最大の都市であり、首都である。

イングランド南東部に位置し、テムズ川下流の両岸にまたがっており、中心部のシティには銀行や証券取引所などがあり、世界経済の一大中心地である。これを取り巻く繁華街のウエストエンド、政治の中心のウェストミンスターなどからなるインナーロンドンが都心部をなし、さらにアウターロンドン地域まで含めて大ロンドンと呼ばれる。ロンドンには、セントポール寺院やバッキンガム宮殿、ウェストミンスター寺院、国会議事堂、ロンドン塔など歴史的建造物が多い。

1908 年と 1948 年、ともに夏季オリンピックであるロンドンオリンピックが開催され、2012 年に、当地で 3 回目のオリンピックを開催することとなっている。

2 ドイツ

(1) ドイツの概要

ドイツは、ヨーロッパ中部にあり、人口約 8,180 万人を擁する。G 7 (世界先進 7 カ国)の一つであり、EU (欧州連合)を形成する主要国の一つである。環境先進国としても世界的に有名である。

第 2 次世界大戦後の 1949 年に西ドイツと東ドイツに分裂し、1961 年、「ベルリンの壁」が構築された。1989 年、ソビエト連邦のペレストロイカに端を発した東欧革命により、ベルリンの壁は崩壊。1990 年に東西ドイツが再統一を果たし、ベルリンを首都とした現在のドイツ連邦共和国となった。

ドイツの 2010 年の GDP は世界第 4 位であり、国内における主な産業は、自動車、科学、機械、金属などの工業である。それらを支えるメルセデスベンツや BMW などの世界的な自動車メーカーブランドや、医療機器メーカーが所在している。

ドイツからは、文豪のゲーテや、X 線を発見したレントゲン、物理学者のアインシュタイン、音楽家のベートーベン、宇宙工学のフォン・ブラウンなど多種多様な世界的な著名人を数多く輩出しており、近代においては、スポーツの人気も高く、モータースポーツからはミハエル・シューマッハ、世界最高峰のサッカーリーグであるブンデスリーガの選手であるベッケンバウアーやオリバー・カーンなどが挙げられる。東西分裂時代を含め、ドイツは古くからスポーツが盛んであった。特にサッカーの人気は飛び抜けており、世界的に強豪国として有名である。

オリンピックは 1936 年にベルリンオリンピック、1972 年にミュンヘンオリンピックを開催している。

(2) ベルリン市の概要

ドイツ北東部に位置する同国の首都である。人口約 340 万人が生活する。13 世紀にブランデンブルク辺境伯によって建設され、18 世紀以来、プロイセン王国、ドイツ帝国、ワイマール共和国、ナチス・ドイツの首都であった。第 2 次世界大戦後は東西に分割され、東ベルリンは東ドイツの首都、西ベルリンは西ドイツの一州となった。その為、1961 年、東ドイツにより東西ベルリン境界に壁 (ベルリンの壁) が構築されたが、1989 年に撤去され、翌年東西が統合。現在のベルリン市となる。

ドイツの政治の中心地である。古くから地方分権が進んでいるドイツ国内では金融や産業の中心地は他の市や州となっており、首都への機能の一極集中がなされていないのも同国の特徴の一つとして挙げられる。

ナチス・ドイツ時代の 1936 年に夏季オリンピック(ベルリンオリンピック)が開催された。このオリンピックの際に建設されたメインスタジアムであるオリンピアシュタディオンは現在も使用されており、建設以降、オリンピックのほか陸上競技、F I F Aワールドカップなど、国内スポーツのみならず、世界的なイベントに幾度となく使用されている。また、2006 年F I F Aワールドカップドイツ大会時には、補修・拡張し、決勝戦が行われた。

(3) ミュンヘン市の概要

ドイツ南部に位置するバイエルン州の州都である。人口は約 135 万人。ドイツ第 3 の都市である。交通の要衝にあり、南ドイツの経済と文化の中心地となっている。産業としては、光学や精密機器等の工業が挙げられ、商工業都市と呼べる。ビール醸造も盛んで、ビールの収穫祭であるオクトーバーフェストには世界中から毎年 600 万人規模の観光客が訪れる。また自動車メーカーのBMWの本社が所在する。

1158 年、時のバイエルン大公によって創建された都市であるが、バイエルンの分国・統合の歴史の後、16 世紀以来同国の首都として繁栄をした。第 2 次世界大戦後の 1945 年から約 3 年間、アメリカ軍の統治下におかれた。

スポーツにおいては、ドイツ・ブンデスリーガに所属するサッカーチーム、バイエルン・ミュンヘンが世界的に有名である。また、2006 年F I F Aワールドカップのドイツ大会が行われた時に会場となったスタジアムがある。

1972 年、西ドイツ時代に夏季オリンピック(ミュンヘンオリンピック)が開催されており、同年の冬季オリンピック開催地である札幌市と姉妹都市協定を結んでいる。ミュンヘンは 2018 年冬季オリンピックにも立候補していたが落選した。